山口県酪農農業協同組合が飼料イネを収穫しました

下関農林事務所畜産部
平成22年8月13日

下関市吉田農業生産組合は、昨年から省力化を目的にコーティングを施したコシヒカリ種子を動力散粒器でほ場に直接播種する方式で飼料イネを生産しています。

平成22年８月５日～９日、同組合の飼料イネ1.1ｈａを山口県酪が収穫を行いました。

同組合の飼料イネは、管理が良く、生育も上々で、良質なイネが出来上がり、１個180kgのロールが79個、10ａ当たり1.32ｔの収穫が出来ました。

収穫した飼料イネは、ほ場で専用機械でロールに調整し、トラックで倉庫まで持ち帰りラップし、ホールクロップサイレージ（ＷＣＳ）として長期間保存し、11月頃から乳用牛等に給与されます。

今回、直播方式は、適切な管理により、移植と同等以上の収穫が得られることが明らかとなりました。

下関農林では、生産の効率化による自給飼料の確保に向けて、このような取り組みを拡大させていきたいと考えています。

飼料イネ収穫風景

ロール運搬